

平成28年度 第2回江別市消防委員会議事録

日 時：平成29年2月22日（水）

15:30～16:43

場 所：消防本部庁舎多目的ホール

出席者【敬称略】

消防委員会：	委員長	村田京華	
	副委員長	有野正勝	
	委員	川岸裕子	
	委員	丸山博幸	
	委員	小山功	
	委員	新屋光彦	6名

消防本部： 消防長、次長、署長、警防課長、指令課長、消防課長、予防課長、救急課長
8名

事務局： 庶務課長、庶務係長、庶務係員
3名
計 17名

議事内容（消防委員会資料参照）

3. 報告事項

村田委員長 それでは、次第3. 報告事項（1）平成29年度予算案概要について、事務局よりご説明願います。

庶務課長 私から、次第3 報告事項（1）平成29年度予算案概要についてご説明いたします。1ページ、資料1をご覧ください。

 先般、1月31日に庁内予算内示、2月8日に江別市長の記者発表となった中での、消防本部の新年度予算案概要となります。消防本部の予算は、上段の経常経費、下段の臨時経費で構成されており、一番下の消防本部合計では、2億5千9百26万5千円で、平成28年度と比較すると4百79万3千円の増で、対前年比約2%の増となっています。江別市の一般会計では、平成28年度当初予算比5.4%減の439億5千万円となり、6年ぶりの減額となったものでございます。

 それでは、はじめに上段の経常経費についてご説明いたします。経常経費につきましては、表中上段が本部3課事業、下段が消防署3課事業で、併せて17事業となり、全体で約150万円の減額となっています。主に庶務課の「消防職員被服費」

約130万円、指令課の「消防緊急情報システム管理経費」約110万円の減額が大きいところがございます。

経常経費で増額となっている事業につきましては、主に庶務課の消防団運営費、こちらは平成25年の消防団新法を受け、消防団の訓練や防火啓発活動、安全装備品の整備などに要する経費でございます。

次に消防課の4事業でございます。こちらは車両等維持管理経費や現場活動での消耗品等に要する経費でございます。

総体的には、各課において備品・資機材等の整備に係る計画の終了やその内容の一部見直しを行ったことによる減額となっております。

次に、下段の臨時経費についてご説明いたします。臨時経費につきましては本部2課6事業となり、全体で約630万円の増額となっております。

主に庶務課の「消防庁舎・出張所改修事業」1,480万円、こちらは平成5年に設置した庁舎用の暖房ボイラー2基の老朽化に伴う改修経費でございます。次に警防課の「指令業務共同運用調査研究事業」約90万円、こちらは石狩振興局管内6消防本部による指令業務共同運用に向けた調査研究として、外部事業者による調査の一部を委託するために必要な経費でございます。

以上、平成29年度の予算概要を説明いたしましたが、今回の予算案につきましては、皆様にご審議いただきました、「江別市消防10か年アクションプラン」に基づいた予算措置がなされており、老朽化した車両や設備等の更新整備が計画どおりに進捗していることをご報告いたします。

以上、次第3 報告事項(1)平成29年度予算案概要についての説明を終わります。

村田委員長 それでは、只今の報告に関しまして、ご質問等がございますか。

新屋委員 経常費の中で、平成28年度予算額と比べ、消防職員被服費と消防緊急情報システム管理経費が100万円以上と大幅な減額になっております。それぞれ消防職員の被服の貸与ですとか、消防緊急情報システム管理の維持管理に要する経費ということで予算削減は難しい面があると考えますが、減額となった理由について説明願います。

庶務課長 初めに庶務課所管の消防職員被服費の減額についてご説明いたします。被服の更新につきましては、更新人数の減が主な理由となっております。また、消防職員1名を採用したときに掛かる必要経費として40万円弱掛かっています。こういったことから更新人数の減が被服費全体の減額につながったところがございます。
庶務課については以上でございます。

指令課長 消防緊急情報システム管理経費の減額について指令課からご説明いたします。この件につきましては、平成28年度におきましてシステムに必要な無停電電源装置、これにつきましては停電した際、当本部の自家発電機が作動しますが、100%電源が安定するまでの間自動的にシステムに安定した電源を供給するための装置で

す。こちらの方が300万円ほどかけて更新をしておりましたが、その整備が終了したことから約110万円の減額となったものでございます。

村田委員長 他の委員の方から何かご質問はございませんか。

特になければ私から質問します。一つ目は消防団運営費ですが、消防団の充実を目的に10か年の計画の中で毎年増額していることと存じますが、昨年度から取組みを進められた女性分団の活動内容をご報告いただきたいと思います。

二つ目は、臨時経費の中の消防庁舎・出張所改修事業について、平成28年度から着手して二か年で完了するということですか。

庶務課長

一つ目のご質問の女性分団の今年の活動内容としましては、札幌市で全国の女性消防団員の活性化大会に参加し、また、司会等を行っています。全道規模の会議においても参加し、司会等を行っています。その他に、従来から行っている応急手当普及啓発事業に応急手当普及員として市民の皆様への指導に回っています。また、高齢者の単身住宅への防火啓発等従来どおりの活動を行っているところでございます。

二つ目のご質問のボイラー改修事業につきましては、平成5年度に設置したもので、平成28年度は給湯用ボイラーの改修工事を行いまして、平成29年度につきましては、暖房用のボイラー2機を改修する予定となっております。

村田委員長

その他にご質問はございませんか。他にないようですので、もう一つ質問します。臨時経費の中で指令業務共同運用調査研究事業が新規で予算化されていますが、具体的な取組み内容について説明して下さい。

警防課長

指令業務共同運用調査研究事業について簡単にご説明いたします。初めに、現在の消防指令システムにつきましては、平成23年3月に国の補助財源を使いまして整備したところでございまして、現在までのところ次期消防指令システムの更新に向けた調査研究についても進めてきたところでございます。

国は大規模な災害を想定し、対応力強化に向け、消防指令業務の共同化を推進しており、この施策により、全国各地において消防指令業務の共同化が推進されているところであります。当市を含む石狩振興局管内の6消防本部・局におきまして、消防指令システムの更新時期が近いことや、平成25年10月に共同整備が完了した消防救急デジタル無線の共同運用が開始されたことを含めまして、このネットワークを活用することが可能となったことから、石狩振興局管内の6消防本部・局による指令業務の共同化に向けた検討委員会を立ち上げ、調査研究を継続しているところであります。この中で、調査の内容について、一部専門事業者による調査が必要と判断しまして、6消防本部・局による協定を今年度締結したところであります。

外部委託調査の内容でございしますが、今回6消防本部・局におきまして、指令業務の共同運用をした場合、それに係わる施設、設備、システムについての調査やこの費用、整備した施設やシステムを安定的に維持するために掛かる経費の算出などについて専門知識・技術を有します外部事業者に調査を委託するものであります。

外部調査のスケジュールにつきましては、平成29年5月に契約事務を行い、6

月より調査を開始し、翌30年の2月に結果の報告を受ける予定となっています。なお、主な調査項目につきましては、新指令システムの機能、消防救急デジタル無線との接続、消防指令システムの維持管理、保守費用の算出などであります。

なお、6消防本部の構成市町村であります。江別市、札幌市、千歳市、北広島市、恵庭市、石狩北部地区、こちらは石狩市、当別町、新篠津村で、8市町村になっています。調査の予定経費につきましては、548万3千円で、この費用について6本部で均等割りという形になっています。

説明については以上です。

村田委員長 ありがとうございます。この新しい取組みについては、委員会で報告していただけるのですか。

警防課長 調査結果については、消防委員会で報告させていただきたいと考えています。

村田委員長 他にご質問等はありませんか。
なければ、次に報告事項の(2)平成29年度消防関係年間行事予定(上半期)について、担当より報告をお願いいたします。

庶務課長 私から、次第3 報告事項(2)平成29年度消防関係年間行事予定(上半期)についてご説明いたします。2ページ、資料2をご覧ください。

次年度の4月から9月までの上半期における消防関係行事予定表についてでございますが、はじめに、4月には春の火災予防運動が4月20日から30日まで実施されます。次に5月には、野幌森林公園を火災などから守ることを目的に、毎年、札幌市、北広島市、江別市の3市の消防機関が公園内で発生した火災時の連絡体制の確認や各消防部隊の連携した消火活動の構築を図ることを目的に訓練を行っています。次に7月には、野幌市民まつり会場での消防ブース開設を行います。次に8月には、平成29年度第1回当委員会の開催を予定しており、役員改選の年となります。また、消防団の日頃の訓練成果を査閲する目的で、消防団長査閲訓練を消防学校で実施する予定です。最後になりますが、9月には江別市総合防災訓練及び消防関係物故者慰霊祭を予定しており、こちらの行事につきましては、委員長へご案内する行事となっています。

以上、簡単ではございますが、次第3 報告事項(2)平成29年度消防関係年間行事予定(上半期)についての説明を終わります。

村田委員長 それでは、只今の報告に関しまして、ご質問等ございませんか。
特になければ私から質問します。平成28年度上半期の行事予定と比較しまして、幸町少年女性防火クラブ研修視察や防火夜回り、消防フェスティバルが増えているようですが、具体的な事業内容が決まっていれば説明願います。

予防課長 ただ今のご質問につきまして、予防課からご説明いたします。
初めに、幸町少年女性防火クラブ研修視察につきましては、従来から行われてき

ましたが、石狩地域管内ですとか近隣の市町村の防火クラブの方が集まり、主に防火施設の見学を行っています。一昨年から開催している消防フェスティバルにつきましては、色々な火災予防運動で各地域ごとまちまちで行っていましたが、もう少し合理的に市民にPRする方法はないかということで、8月頃を選んで大規模な消防フェスティバルを開催し、日常の火災予防ですとか消防車両の展示を行いまして、市民にご理解をいただきたいと考えています。

また、幸町少年女性防火クラブの防火夜回りにつきましても、従来から行ってまして、自分の受け持ち地域に担当する防火クラブの子供さんと女性、主に親御さんが中心となりますが、夜6時頃から地域を回り、拍子木を打ちながら地域の住民に防火を呼びかける、そういった活動を行っています。

村田委員長 他に質問等はありませんか。

なければ、次に報告事項の(3)平成28年 江別市災害・救急概要について担当より報告をお願いいたします。

警防課長 平成28年 江別市災害・救急概要について警防課から報告いたします。資料3ページをお開き下さい。

「I 平成28年 江別市管内の災害概況」でございますが、表の中の「1. 火災」から、順に主な概要についてご説明いたします。

火災件数につきましては32件で、前年比4件の増加となっています。内訳といたしましては、「建物火災」が21件、「車両火災」が5件、「その他火災」が6件となっています。

次に中段、「(4) 死傷者数」につきましては、5人の発生で前年より2名の減少となりましたが、一昨年は発生していなかった死者が1人発生しています。

次に「(7) 損害額」につきましては、4,327万9千円で、前年比155万1千円の減額となっています。

なお表中、「(5)」から「(7)」につきましては、一部調査中のものがありますことから、今後、数値が変更するおそれがあることをご了承願います。

次に「2. 救助」についてご説明いたします。救助件数は95件で、前年比10件の増加となっています。内訳といたしましては、「交通事故」が34件、「水難事故」、「建物等の事故」が各2件、「風水害」、「機械事故」、「ガス酸欠事故」が各1件、「その他の事故」が54件となっており、その他事故の主な内訳につきましては、家族がご本人と急に連絡がとれなくなったなど、緊急に安否確認が必要と判断される場合の「施錠開放要請」が42件となっています。

次に「3. 警戒等」についてご説明いたします。警戒等の件数は、232件で前年比26件の増加となっています。

内訳といたしましては、交通事故車両やホームタンク等からの「油流出」が75件、自動火災報知設備作動などの「警報設備等」が44件、ドクターヘリ要請に伴うヘリポート警戒等の「危険排除」が38件、ゴミ焼き・花火の怪煙等の「誤報等」が38件、鍋の空焚きなどの「燃焼事故」が14件、ストーブ等の異常燃焼等の「火

気設備等事故」が7件、昨年8月に発生した大雨による「風水害等の自然災害」が16件となっています。

次に「4. 救急支援」についてご説明いたします。救急支援件数は、371件で前年比20件の増加となっています。

内訳につきましては、心肺停止及びその疑いなどの「CPA」が311件、高速道路上等の救急活動障害の排除や複数傷病者発生時における活動支援及び安全確保のための「危険排除」が27件、住居等の出入口が狭隘など建物等からの「搬送困難」が22件、「その他」が11件となっています。

次に資料裏面の4ページ上段をご覧ください。

Ⅱ 「平成28年江別市管内の救急概況」についてご説明いたします。救急件数は、4,537件で前年比170件の増加となっています。

主な事故種別の内訳につきましては、「急病」が2,921件で全体の約64%を占めています。「一般負傷」が562件、「交通事故」が273件、「労働災害」が132件、病院間搬送などの「その他」が498件となっています。

救急搬送人員につきましては、4,250人で前年比197人の増加となっています。

最後になりますが、同ページの下段には参考として、過去7か年の年代別搬送人員の推移をグラフで掲載しています。全体的な傾向として、搬送人員は緩やかな右肩上がりでの増加となっており、平成28年の年代別では、主に18歳から64歳までの成人搬送人員が136人増加しています。

報告につきましては、以上でございます。

村田委員長 それでは、只今の報告に関しまして、ご質問等はございませんか。

新屋委員 私から質問いたします。一点目は火災についてですが、建物火災が減っていますが、建物の中の一般住宅の件数、また高齢者の割合が分かれば教えて下さい。

二点目は、住宅用火災警報器が義務付けされ、当社もガス漏れ事故防止で啓蒙していますが、50%程度の設置率です。住宅用火災警報器の設置で被害低減につながったという事例があればお知らせ願います。

予防課長 予防課からお答えいたします。

初めに火災の種別のことから申し上げますと、火災には建物火災、車両火災、林野火災、航空機船舶その他火災という区分に分かれます。ご質問にありました建物火災は、昨年32件の火災出動件数中、21件に及んだものでございます。その中で、建物火災につきましては、工場やお店ですとかいろいろなものがありますが、住宅に区分されているものに関しましては12件火災が発生したわけでございます。この12件の住宅火災の中で、一人暮らしの高齢者に関係した火災は2件ございました。

次に二点目の住宅用火災警報器の関係についてご説明いたします。初めに住宅用火災警報器というのは火災を未然に防ぎ、いち早く消火するですとか、通報する、避難する、そういった目的のために付けるものですが、平成28年中においては江

別市内で消防に通報があったものは5件ありました。一応効果があったということで、奏功事例として江別市消防も件数を押さえています。一般的には台所でコンロを付けっぱなしにしていて煙が出て、警報器が作動したのを通りがかった近所の住民が気付いたですとか、或いは本人がテレビを見ていて忘れていても、気付いていち早くガスを消したことによって火災に至らなかった、そういったものが主なものでございます。ただ、結果的に火災になったケースもありますが、最小限に食い留めたということで、それも住宅用火災警報器の効果があったということで件数に計上させていただいているものでございます。こちらの統計に関しましては、平成19年以降、江別市で平成28年の末現在21件ございました。全道では平成28年中で46件、消防に通報があったんですけど、ただ実際には火事にならなかったもので消防に通報していない潜在的なことも実際に多くあるのではないかと考えています。そして、10年の住宅用火災警報器の更新に関しましては、平成29年度予算で市内の全世帯に注意喚起のパンフレットを配布する予定です。住宅用火災警報器の更新に関しましては、広報活動が中心になるものですから、新聞ですとか冊子などを活用して市民にPRしていきたいと考えています。

新屋委員 コンロにつきましては、火災を防ぐセンサーが付いたコンロが販売されるようになり、業界の自主規制もあり、業界を挙げて普及への取組みを進めていますが、市内でいえば半分程度の設置という状況です。当社としても取組みを強化しており、そういったところでコラボレートして消防と一緒に何か進めさせていただければと考えています。

予防課長 一点、補足で説明させていただきます。江別市内の住宅用火災警報器の設置率につきましては、昨年6月1日の総務省消防庁の発表によりますと88%となっています。この調査につきましては、標本調査で、無作為に限られた数字、地番を抽出して何件以上調査して下さいという内容になりますが、88%という数字で全国、全道と比較して非常に高い数値となっているものでございます。
説明は以上です。

村田委員長 他にご質問等なければ私から質問します。救助についてですが、交通事故が一番件数が多い状況ですが、時期的にいつごろが多くなっていますか。もう一点は、交通事故の次に件数が多いのがその他の事故で、かっこ内で施錠開放等と記載されていますが、内容としてはどのようなものですか。もし、鍵の掛け忘れということであれば、高齢者の割合が多くなっているのかについてもご説明願います。

消防課長 消防課からご説明させていただきます。一点目の交通事故に関しましては、時期的に多くなるのは冬期間で特に12月が多く、昨年であれば7件発生しています。二点目のその他の事故の施錠開放ですが、先ほど担当からも説明がありましたが、本人と連絡がとれず施錠されている場合や急病等の発生で家のドアが施錠されていて自力で開放できない場合に開放したもので、54件中42件となっています。その内、高齢者につきましては34件でございます。
説明は以上です。

村田委員長 高齢者向けの対策はとっていますか。

消防課長 消防としては要請に応じて安否確認などの救助活動を行います。対策となりますと所管が別になりますのでご了承願います。

消防長 補足で説明いたします。後ほど救急でもご質問があるかと思いますが、江別市においても高齢化率が高まり、そしてまた高齢者の一人暮らしが多くなっているという状況です。高齢化率が高まる傾向の中では、高齢者などによる安否確認等の救助件数は減らないものと認識しています。施設開放では、遠方にいるご子息等からの通報で本人と連絡が取れないというケースがあり、また、ヘルパーさんが介護に来たとき、家人から応答がないが家の中にいる可能性が高いと通報が入るケースがあります。

今後につきましては、広報も手段としてはありますが、福祉部局や他部局と連携して検討しています。また、国に指針やガイドラインを作ってもらうなど、いろいろな取り組みを考えていかなければならないと考えています。

以上でございます。

新屋委員 警戒等につきまして質問します。油流出では、車からのガソリンやホームタンクからの油漏れということで先ほど、担当の方から説明がありましたが、件数が 75 件ということでその内訳と、油流出に基づく事故があればお知らせ願います。

消防課長 消防課からお答えいたします。油流出事故につきましては 75 件発生しております。車両からの油流出が 64 件、これにはガソリンの他にエンジンオイル、交通事故によるクーラント漏れが含まれます。また、住宅のホームタンクからの灯油流出が 7 件、その他として 4 件あります。このその他につきましては、灯油缶からの流出、雨水升等への流出が含まれます。

説明は以上でございます。

村田委員長 次に私から質問します。油流出のその他 4 件の内、工場や会社関係はありましたか。

消防課長 工場や会社関係についてはありませんでした。

村田委員長 私からもう一つ質問します。警戒の中の危険排除では、担当からの説明ではドクターヘリ要請に伴うヘリポート警戒との説明でしたが、年間どのくらいドクターヘリで搬送されているのですか。また、江別市は風の強い地域ということがあり、飛ばないことがあるのか説明願います。

消防課長 消防課からご説明いたします。危険排除のうち、ドクターヘリ要請に伴うヘリポート警戒については 17 件出動しています。当市からの要請件数は 31 件ですが、そのうち出動した件数は 17 件です。飛ばない場合につきましては、ドクターヘリは有視界飛行でございまして、日没以降については飛行はできないということと、悪

天候や強風等によって操縦士が飛べないと判断した場合は飛ばないことになっています。

新屋委員 救急概要について質問します。労働災害が132件で昨年と比べて大きく増加していますが、内訳としてはどのようなものがあり、また、どのような状況になっているのかについて説明願います。

救急課長 救急課からご説明いたします。救急出動で取り扱う労働災害とは、屋内や屋外を問わず職場内で発生した怪我、頭痛、腹痛等が全て含まれます。骨折や打撲、捻挫で搬送された者は55人、昨年より7人増、怪我以外のくも膜下出血等の脳卒中、めまい、けいれん、胃腸炎などで搬送された人数は73人で、49人の増加となっています。
説明については以上です。

村田委員長 救急の件で私からもう一つ質問します。平成28年度は予防講習等の高齢者向けの細やかな対応を行っていくということを聞いています。実際にどのような取り組みをされたのか説明願います。

救急課長 ただ今の件に関しまして、救急課からご説明いたします。救命講習等で高齢者向けのパンフレット等の配付、そのほかに施設に置く等の対応をとりました。また、普及員講習といたしまして、高齢者施設にいる職員に対して応急手当の指導ができる資格を取る人を募集し、実際に養成を行っています。また、自治会等に指導員を派遣して応急手当または予防等の講習を行っています。
説明については以上です。

村田委員長 ありがとうございます。他に質問はありませんか。

有野副委員長 住宅用火災警報器についてですが、設置が義務付けられていても適切な数が付けられているのかということと、広報誌を見ると電池の交換をして下さい等、メンテナンスの事があると思います。

消防職員の皆さんが啓蒙活動を行いながら点検するのは不可能に近いと思います。今私どもは、ゴミの関係で不法投棄がないか点検しましょうということで農協の作業場を廻ったりしています。先ほど新屋委員からコラボできればというお話しがありました。住宅用火災警報器が正常に作動しているか、もし正常に作動していなければ、民間とか出入りする人などと簡単な点検をして、異常があれば取り換えるように促す、そのようなことができないかと思って聞いていました。

具体的にこうして下さいということではありませんが、先ほどの説明の中で、住宅用火災警報器を付けたことによって火災を防げた事例もあったというお話しを伺いましたので、一定の効果が期待できると考えます。特に高齢者のご家庭で正常に働いていることを確認してあげられるような方策を見つけられないか、そのようなことができないかなという要望ということで一言申し上げました。

予防課長 予防課からご説明させていただきます。現実には消防職員が一軒ずつ一般家庭の中に入り、住宅用火災警報器の状態を確認することは困難な面がありますが、やり方としては、事業所さんをお願いしたり、高齢者クラブの会長さんなどに頼んで、個人の家にお伺いした時に住宅用火災警報器の作動状態を確認して下さいですか、集まる機会があったときにそういったお話しをさせていただくことはできると考えます。なかなか私たちだけでは十分な対応ができない問題になると認識しており、いろいろな業者さん等と連携を取りながら、住宅用火災警報器の更新に向けて強化を図っていきたいと考えています。

村田委員長 ありがとうございます。他にご質問等はありませんか。
なければ、次に報告事項の（４）平成２８年 消防委員会活動報告について担当より報告をお願いいたします。

庶務課長 次第３ 報告事項（４）平成２８年度消防委員会活動報告について、ご説明いたします。５ページ、資料４をご覧ください。資料につきましては５ページから７ページとなっています。

はじめに、昨年６月に旭川ガス株式会社の田村前委員長が退会されましたことから、委員の互選により同年７月１日付で、村田委員長、有野副委員長が選出され、また、新たな役員として旭川ガス株式会社江別支社長の新屋委員が委嘱され、新たな体制の下８月２４日（水）１５時から平成２８年度第１回消防委員会が開催されました。

委員会の中では、報告事項として、第１回江別市議会定例会での消防関連議案についてのご報告と消防学校等派遣・免許取得状況等についての報告、消防本部の主な行事予定をご報告させていただきました。

今回、消防本部の主な行事でございます、３事業へ村田委員長にご参加いただきましたので、ご紹介いたします。

５ページは、９月３０日（金）に開催された「消防関係物故者慰霊祭」の状況でございます。消防関係物故者慰霊祭では、江別市長をはじめ、ご来賓の皆様、消防関係者ＯＢで構成する「江別まとい会」会員、消防職団員併せて４１名が、消防関係物故者２８０柱の御霊に対して黙祷と献花を捧げています。

次に６ページ、１０月８日（土）に開催された「江別市総合防災訓練」の状況でございます。江別市総合防災訓練には、会場となった江陽中学校の生徒をはじめ、自治会関係、市会議員、防災関係機関、消防職団員約５００名が参加されています。

最後になりますが、７ページは１月６日（金）に開催された平成２９年江別市消防出初め式」の状況でございます。出初め式では、市役所前での幼年消防クラブ員による防火の誓いに始まり、消防職団員の分列行進や車両の観閲後、会場を市民会館に移しまして式典として、江別市長の挨拶、来賓あいさつ、職団員の表彰伝達などを行いました、

最後にはアトラクションとして市内小学生によるブラスバンドの演奏があり、総勢約４５０人が参加し盛會に終わっています。

なお、出初め式当日には子供用防火服を寄贈いただきました旭川ガス株式会社江別支社長として、新屋委員もご来賓としてご参加いただいております。寄贈いただいた子供用防火服は、市民より公募した小学生17名が着用し、未来の消防士として、職団員の分列行進の先頭を歩いています。

以上、次第3 報告事項(4)平成28年度消防委員会活動報告についての説明を終わります。

村田委員長 それではただ今の報告に関しまして、ご質問等ございませんでしょうか。
特にないようですので、次第4その他に入らせていただきます。全体をとおして何かご質問等はございませんか。

4. その他

消防長 先ほどのお話しで、高齢化ですとか高齢者のお話しができました。小山委員にお伺いしますが、ホームヘルパーが高齢者宅を訪問して、約束の時間に行くと高齢者の方が倒れていた、といった事例もあろうかと思えます。その場合、当然消防が行っているとは思いますが、一人暮らし高齢者の比率は増えていますか。

小山委員 一人暮らし高齢者の数は公表されたデータがありませんが、介護サービス利用者における割合は高いと思えます。ちなみに介護保険における利用者の状況ですが、平成28年5月時点で65歳以上の人口は33,000人で、そのうち介護認定を受けている方は6,300人います。その中で在宅サービスを利用している方は3,700人位、施設に入っている方は890人程です。

一人暮らし高齢者世帯にホームヘルパーが訪問したときや市が行っている高齢者の配食サービスを届けた際に安否確認をしますが、その時に倒れていて通報によって助かった方もおり、在宅福祉サービス等による見守りは一人暮らし高齢者の生活に欠かせないものと考えています。

また、先日、新聞に出ていましたが住宅用火災警報器は、電池交換より本体交換が必要な場合もあるとのことであり、専門的な判断はホームヘルパーが行うことは難しいですが、高齢者から相談があった場合は、これまでどおり消防につなぐなどの対応をまいります。

消防長 ありがとうございます。高齢化が進む中で消防が実施する火災予防対策の他にも、色々な業種の方と連携した取組みを進めることによって、住宅火災を防ぐことにもつながりますので、その点よろしく願いいたします。

村田委員長 その他、皆様から何かありますでしょうか。

丸山委員 私から消防団の活動についてご報告いたします。
先ほどの平成29年度予算案概要で担当から説明がありましたが、費用弁償等、消防団活動に必要な予算を確保していただいております。

市民の皆さんに関係する部分では、二年前から消防フェスティバルが始まり、消防団全体でイベントに協力していくという姿勢を打ち出しています。そのほか、応急手当普及員の養成や救命講習における指導ですとか、女性団員が柱としている部分があります。実際に団員が 23 名おり、各団員が協力し合って役割を担っている状況です。また、実際に出動の回数でいうと 60 回くらいです。60 回といたしますと大きな出動回数ですし、市民の皆さんに少しでも安心できる環境づくりをすることは大事なことだと考えています。

その他に、地域防災の組織連携活動だとか、これについては消防団員の中では地域において防災に対する指導員としての役割についてもこれから考えていかなければならない状況になっています。それについては職員の方からも指導をいただいて、基盤づくりを進めています。実際にいま消防団員が 193 名いて、それぞれの都合がありまして 186 名くらいに落ちますが、団員を確保して万全な体制を整えたいと考えています。また、消防委員会のみなさんの協力も得たいと考えています。消防団としては頑張っていますのでご支援よろしくをお願いします。

村田委員長 その他、全体をとおして皆様から何かありますでしょうか。
特になければ、事務局より連絡事項などはありませんか。

庶務課長 事務局の方から今後の消防の動きについてご説明いたします。

まず、3月7日ですが消防記念日になっています。昭和23年3月7日に消防組織法が施行され、消防は市町村消防を原則とする今日の自治体消防として誕生し、来年の平成30年が70周年となります。先ほどの昭和23年から2年後の昭和25年に広く消防関係職員及び住民の方々に自らの地域を自らの手で火災その他の災害から守るという事への理解と認識を深めてもらうために消防記念日が制定されました。3月7日は北海道など、一部地域を除いて全国的には春の火災予防運動、毎年3月1日から7日が春季の全国火災予防運動の実施期間の最終日に、各消防本部において消防訓練、記念式典、消防防災功労者に対する表彰など様々な行事が行われています。江別市においても同様に3月7日に江別市消防協力者表彰要綱が策定された昭和51年頃より、消防水利の除雪に協力していただいた市民または団体に対する感謝状や人命救助や応急救護に対する表彰状の贈呈を行っています。今年度は消防協力者表彰として約80名の個人及び団体へ消防水利確保協力者として感謝状等の贈呈を行う予定となっています。

その他、3月12日は現在札幌市消防局の救急救命士養成所に派遣している救急救命士の国家試験となっています。ただ今、勉強のまっさかりということでございます。また、議会、委員会関係といたしましては、平成29年第1回市議会定例会の開催、平成29年予算特別委員会が開催されます。また3月中でございますが、江別市内事業所のトンデンファーム様、龍田工務店様より消防に対する物品の寄贈が予定されています。

事務局からの報告については以上でございます。

永嶋次長 表彰の件に関しまして、追加で説明させていただきます。消防水利というのは消火栓とか防火水槽で、市内に約1,000基ございます。その1,000基のうちの7割く

らいが市民の方々の力で自主的に除雪していただいている状況で、今回 80 名近い個人及び団体が表彰されます。長い方で 45 年、半世紀近くご自分の家の近くにあるということで協力していただいております、今後もその年数が伸びていくということではございますが、そのパーセンテージを市民の理解を得ながら伸ばさせていただきたいと考えているところでございます。

村田委員長 他になれば、全ての議事を終了させていただきます。
細やかな議案説明に加えまして、皆様より様々な意見をいただき会を運営できましたことに感謝を申し上げます。それではこれで議長を解任させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

5. 閉 会

庶務課長 以上をもちまして、平成 28 年度第 2 回江別市消防委員会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。